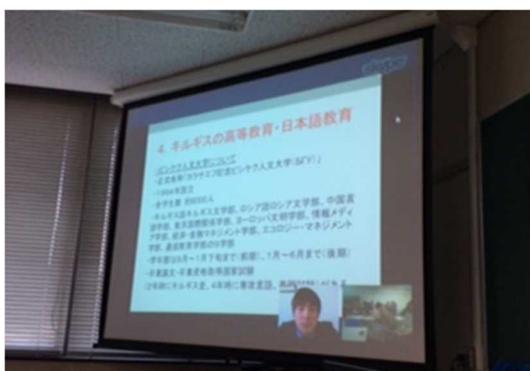


2015年度 修了生の活躍

本学修了生の西條結人さん（在キルギス）とのスカイプ交流

12月8日（火）日本語教育学演習・日本語教育法演習の授業にて、本学大学院の修了生であり、現在、青年海外協力隊員としてビシュケク人文大学（キルギス）に所属されている西條結人さんとスカイプ交流を行いました。



交流では、キルギスでの生活や日本語教育事情に加え、西條さん自身、本学での学びが修了後どのように生きているかなどのお話をしてくれました。キルギスは私たちにとってあまり身近な国ではありません。しかし、実際に現地で暮らしている方からその魅力を聞くことができ、何もかもが新鮮かつ貴重な時間でした。

様々なお話をしてくださったのですが、中でも特に印象に残ったのが、「日本人にとって住みやすい国である」ということです。生活物資が手に入りやすい点やネット環境が良い点（4G LTEの無制限プランがある！）に加え、食生活に関しても不自由することはないことが分かり、私自身「キルギスに行ってみよう」と強く思いました。



「西條さん自身、本学での学びが修了後どのように生きているか」という点についても、本学で日本語教育を主体的に学べば、豊富な実践経験を積むことができ、その結果として授業を組み立てる力や様々な人との交流機会を得られるということが改めて分かり、たいへん励みになりました。

他にも、受講生の多くが興味を持っている「海外で日本語を教えるとはどういうことか」という点についても、(楽しいことだけではなく苦しいこともある!) など、具体的な事例を出しながら、西條さん自身「日本人として」どう感じたかを説明してくださいました。

リアルタイムで質疑応答ができるというスカイプ交流の利点を活かし、約1時間、常に意見が飛び交っていたにも関わらず、受講生はまだまだ話し足りない様子でした。普段の授業とは違う視点から様々なことを知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

(文責 吉川巧也 : M1)